イチゴの品質によるブランド認証制度の推進

（対象：管内イチゴ生産者および団体）

要約

- 「奈良県プレミアムセレクト」創設に伴い、認証基準を満たす組織の育成と高品質果実生産が課題。
- 管内イチゴ生産組織に向けて、認証申請および高品質果実生産に関する支援を実施。
- 申請した２組織が認証された。また、低温管理することによって、果実糖度は認証基準である１１度以上を満たした。

現状(背景)と課題

- 制度が設置されていなかったため、県ブランド制度認証組織がない
- 認証可能な果実品質に達していない

目標

- 県ブランド認証組織の育成
- 施設の低温管理による果実品質の向上

活動内容

- 「奈良県プレミアムセレクト」への認証申請に向けて、管内生産者団体に働きかけ、認証基準や出荷体制に関する協議を行うとともに、生産者の意識醸成を図った。
- 施設内温度と果実糖度を調査し、生産者に対して情報提供を行うとともに、栽培指導を行った。

成果

- 「奈良県プレミアムセレクト」認証制度に基づき、イチゴ‘古都華’を生産する2組織が認証された。
- 日中の施設内温度を25℃以下で管理することにより、適確な熟度で収穫された果実は認証対象期間の2月下旬まで、認証基準である果実糖度11度以上を満たした。

ブランド認証に向けた打合せ会議

現地巡回指導

認定証の授与

北部農林振興事務所　農林普及課
担当：農産物ブランド推進第一係　西村　憲三

奈良県農畜水産物ブランド認証推進事業
リーディング品目支援事業（イチゴ新技術・新システム入促進事業）

普及活動のポイント

・関係機関（ＪＡならけん奈良市柏木営農経済センター、農業水産振興課）と連携し、打合せ会議や現地巡回指導等を通じて、制度認証に関する支援を効率的に行った。
・低温管理技術について、現地実証を行いながら、栽培講習会等を通じて、生産者に対して情報発信や指導を行った。

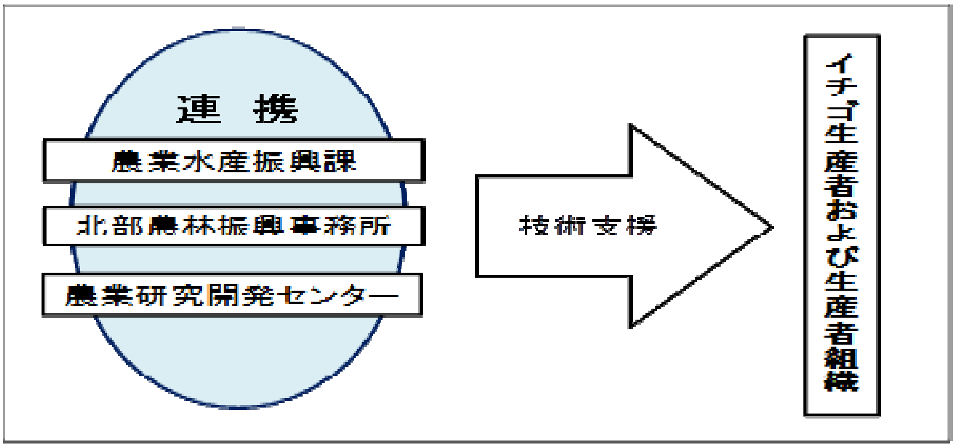
対象の変化

・「奈良県プレミアムセレクト」認証制度が創設されたことで、具体的な品質目標が明確になり、生産者の果実品質に対する意識が統一された。
・適正な施設温度管理（低温管理）により、果実糖度などの品質向上が図られた。

対象者からのコメント

・「奈良県プレミアムセレクト」認証制度に基づく出荷を継続したい。
・糖度の向上を含めて、イチゴ果実のさらなる高品質化を目指したい。

これからの活動ビジョン

・ブランド力強化の取り組みを販売価格に反映させる必要がある。そのためには、経年調査を経た安定的な低温管理技術の確立などの技術面の支援を充実し、高品質な「奈良のイチゴ」の安定生産を目指す必要がある。

活動体制